

大正大学総合佛教研究所
梵文「声聞地」刊行のお知らせ

今度刊行される梵文「声聞地」は大正大学総合佛教研究所と中国民族図書館との五年にも互る日中学術交流の初めての成果の公表である。これは北京の同図書館に保管されていた「声聞地」サンスクリット貝葉写本を直接撮影して作成された原寸大写真版である。同図書館に保管されていたサンスクリット写本の内では「法華経」写本がすでに原寸大カラー写真版で公開されているが、今度の刊行はそれに次ぐものである。

「瑜伽師地論」は大乗瑜伽行派の基本的典籍として重要な位置を占める論書であり、その第13章に相当するのが「声聞地」である。このような「声聞地」の現存唯一の原典が初めてしかも鮮明な写真版で出版されることは意義深いことであり、この資料は仏教研究への大きな貢献が期待されるものである。

なおこの出版物には、大正大学声聞地研究会の英文解題「Introduction to the Facsimile Edition of the “Śrāvakabhūmi” Sanskrit Palm-leaf Manuscript」が、添付されている。

影印134葉・両面刷・英文解題付・函帙入

原色版	定価	150,000円
白黒版	定価	100,000円
梱包送料	国内	3,000円